



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)唐島 夏生
 問合せ先責任者 (役職名)取締役/執行役員CFO (氏名)山手 章弘 (TEL)03-6837-5000(代)
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,794	4.3	104	147.4	119	150.2	86	△67.0
2019年3月期第1四半期	2,679	8.6	42	—	47	730.8	263	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 110百万円 (185.3%) 2019年3月期第1四半期 38百万円 (△23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.63	—
2019年3月期第1四半期	7.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	12,101	7,697	63.6	233.28
2019年3月期	12,551	7,690	61.3	233.02

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 7,697百万円 2019年3月期 7,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,350	4.5	210	22.5	240	23.5	180	△50.2	5.45
通期	13,100	2.0	250	19.9	350	19.9	270	△43.1	8.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	37,371,500株	2019年3月期	37,371,500株
2020年3月期1Q	4,374,419株	2019年3月期	4,374,059株
2020年3月期1Q	32,997,343株	2019年3月期1Q	33,359,395株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することとなります。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	(株)インプレス (株)IAD 英普麗斯(北京)科技有限公司
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	(株)リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	(株)エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	(株)山と溪谷社
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	(株)ICE
		ソリューション	Webサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、出版流通プラットフォームの開発・運営等	(株)近代科学社 (株)インプレスR&D (株)クリエイターズギルド (株)天夢人 Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売・物流管理	(株)インプレスホールディングス(当社) (株)Impress Professional Works

(当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、国内及びアジア市場向けの受託案件の減少や休刊の影響等による雑誌事業の減収を、音楽アーティストやフィギュアスケート関連等のムック販売や刊行点数の増加等による書籍販売の増収に加え、ターゲットメディアと連携したIT分野のビジネス向けイベント・セミナー等の増収により補い、コンテンツ事業の売上高は、前期（2,284百万円）に比べ0.3%減少し2,277百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業が好調に推移、また著者向けPOD（プリントオンデマンド）出版プラットフォーム事業も拡大し、売上高が前期（436百万円）に比べ23.9%増加し、540百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（2,679百万円）に比べ115百万円増加し、2,794百万円となりました。営業利益につきましては、増収と収益性の改善により、前年同期（42百万円）に比べ62百万円増加し、104百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期（47百万円）に比べ71百万円増加し、119百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前期に発生した投資有価証券売却益の計上等の影響により、前年同期（263百万円）に比べ176百万円減少し、86百万円となりました。

(セグメント別の概況)

① IT

ITセグメントにつきましては、国内及びアジア市場向け受託案件は減収となったものの、刊行点数の増加及びプログラミング関連の入門書等の販売が増加したことに加え、ターゲットメディアと連携したビジネスセミナー等も好調に推移したことで、コンテンツ事業の売上高は前期（1,025百万円）に比べ6.3%増加し、1,090百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子書籍の販売が好調であったことにより、売上高は前期（36百万円）に比べ5.9%増加し、38百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（1,062百万円）比6.3%増の1,129百万円となりました。セグメント利益は、増収と収益性の改善により、前年同期（13百万円）と比べ53百万円増加し、66百万円となりました。

② 音楽

音楽セグメントにつきましては、前期に音楽アーティスト関連の大型受託案件があった影響によりソリューションの売上高が減少、加えて、刊行点数の減少等による書籍販売の減少や雑誌事業の減収はあったものの、音楽アーティスト関連のムック本の出荷が好調であったこと等により補い、コンテンツ事業の売上高は前期（384百万円）とほぼ同水準の、384百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」（<https://www.digimart.net/>）における楽器店からの決済サービス収入の増加により、売上高は前期（68百万円）に比べ5.5%増加し、72百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（453百万円）と同水準の457百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費の減少により、前年同期（5百万円）と比べ19百万円増加し、24百万円となりました。

③ デザイン

デザインセグメントにつきましては、趣味・実用分野の「スクラッチアート」シリーズの新刊の出荷が好調であったものの、雑誌の休刊による雑誌事業の減収等により、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（191百万円）比9.9%減の172百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費の削減に努めるも減収と収益性の低下を補えず、前年同期（22百万円）と比べ22百万円減少し、0百万円の損失となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、スキーやフィギュアスケート関連のムック本や電子書籍の販売増加に加え、返品減により既刊書籍の販売が堅調に推移したものの、出版広告の減少や大型季節商品であるカレンダーの返品増加の影響等により、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（386百万円）比5.0%減の366百万円となりました。セグメント利益では、減収するも収益性の改善により、前年同期（29百万円）と比べ4百万円増加し、34百万円となりました。

⑤ モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、新規コンテンツの投入の遅れにより電子書籍の販売が減少し、コンテンツ事業の売上高は前期（81百万円）と比べ25.3%減少し、61百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォームの増収に加え、開発受託案件も堅調に推移し、売上高は前期（303百万円）と比べ27.9%増加し388百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（385百万円）比16.6%増の449百万円となりました。セグメント利益では、収益性の低下に加え人材強化に伴う人件費が増加したものの増収により、前年同期（44百万円）と比べ10百万円増加し、55百万円となりました。

⑥ その他

その他セグメントにつきましては、書籍レーベル「立東舎」の書籍の販売が好調であったことに加え、著書向けPOD出版プラットフォームサービスの登録者数の拡大や電子出版の販売増加はあったものの、前期に行った(株)近代科学社の決算期変更による影響で書籍販売が減少したことから、売上高は前年同期（251百万円）比3.2%減の243百万円となりました。セグメント利益では、収益性の改善により、前年同期（11百万円の損失）と比べ11百万円増加し、0百万円の損失となりました。

⑦ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売・物流管理機能を担う(株)Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入やグループ内手数料の増加等により、前年同期（371百万円）比23.7%増の458百万円となりました。セグメント利益では、人件費の増加はあったものの増収により、前年同期（22百万円）と比べ55百万円増加し、77百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、受取手形及び売掛金の回収が進んだものの仕入債務等の支払により現金及び預金の増加が限定的であったこと等により、前連結会計年度末に比べ450百万円減少し12,101百万円となりました。負債につきましては、仕入債務等の支払や季節要因による賞与引当金の減少等により、457百万円減少し4,403百万円となりました。純資産につきましては、前期末(7,690百万円)とほぼ同程度の7,697百万円となりました。

自己資本は7,697百万円となり、自己資本比率は63.6%と前連結会計年度末(61.3%)と比べ2.4ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績動向につきましては、雑誌事業が想定を下回ったものの、大型ムック本等の販売が好調であったことに加えて、電子コミックプラットフォーム事業の拡大基調が続き、想定を上回る業績動向となっております。

第2四半期連結会計期間につきましては、概ね当初の予定通りの業績動向を想定しておりますが、大型の季節商品であるカレンダーの出荷動向及びネットメディア等の広告に不確実性が伴うこと等を勘案し、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、公表済みの業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,312,452	4,728,608
受取手形及び売掛金	4,363,842	3,350,236
有価証券	100,000	300,000
商品及び製品	1,115,866	1,238,604
仕掛品	111,127	145,168
その他	376,187	362,024
返品債権特別勘定	△15,100	△19,900
貸倒引当金	△23,545	△38,584
流動資産合計	10,340,831	10,066,158
固定資産		
有形固定資産	392,828	392,666
無形固定資産		
ソフトウェア	145,014	146,472
その他	14,445	14,445
無形固定資産合計	159,460	160,918
投資その他の資産		
投資有価証券	891,972	714,855
破産更生債権等	43,779	43,779
繰延税金資産	293,374	293,374
その他	473,284	473,405
貸倒引当金	△43,779	△43,779
投資その他の資産合計	1,658,631	1,481,635
固定資産合計	2,210,920	2,035,220
資産合計	12,551,751	12,101,378
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,397,248	1,145,641
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	185,651	183,827
未払法人税等	66,605	39,138
賞与引当金	204,840	27,832
返品調整引当金	172,406	107,448
その他	1,065,627	1,134,673
流動負債合計	3,442,378	2,988,561
固定負債		
長期借入金	137,500	103,125
退職給付に係る負債	1,128,985	1,153,755
長期末払金	104,242	104,242
繰延税金負債	45,874	52,112
その他	2,117	1,944
固定負債合計	1,418,719	1,415,180
負債合計	4,861,097	4,403,741

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,667,914	1,667,861
利益剰余金	1,403,122	1,388,076
自己株式	△780,804	△780,855
株主資本合計	7,631,253	7,616,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,814	117,949
為替換算調整勘定	49,470	51,740
退職給付に係る調整累計額	△95,467	△88,156
その他の包括利益累計額合計	57,817	81,534
非支配株主持分	1,582	—
純資産合計	7,690,653	7,697,637
負債純資産合計	12,551,751	12,101,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,679,518	2,794,875
売上原価	1,613,016	1,674,760
売上総利益	1,066,502	1,120,115
返品調整引当金戻入額	31,598	60,158
差引売上総利益	1,098,100	1,180,274
販売費及び一般管理費	1,055,780	1,075,567
営業利益	42,320	104,706
営業外収益		
受取利息	181	375
受取配当金	467	470
持分法による投資利益	7,897	11,785
その他	3,245	3,492
営業外収益合計	11,792	16,123
営業外費用		
支払利息	1,533	1,074
為替差損	397	143
支払手数料	439	375
出資金運用損	2,747	—
その他	1,339	17
営業外費用合計	6,459	1,610
経常利益	47,653	119,220
特別利益		
投資有価証券売却益	254,199	—
新株予約権戻入益	14,704	—
特別利益合計	268,904	—
税金等調整前四半期純利益	316,557	119,220
法人税、住民税及び事業税	53,064	33,105
法人税等調整額	△209	△765
法人税等合計	52,855	32,340
四半期純利益	263,702	86,879
非支配株主に帰属する四半期純利益	520	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	263,181	86,879

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	263,702	86,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△229,667	14,135
為替換算調整勘定	△2,953	2,270
退職給付に係る調整額	7,681	7,311
その他の包括利益合計	△224,939	23,716
四半期包括利益	38,762	110,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,242	110,596
非支配株主に係る四半期包括利益	520	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	1,062,481	453,784	191,034	386,007	385,568	2,478,875	251,801	△51,158	2,679,518
セグメント利益又は セグメント損失(△)	13,085	5,408	22,185	29,919	44,405	115,003	△11,452	△61,230	42,320

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益又はセグメント損失の調整額△61,230千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△51,158千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△343,871千円、セグメント間の営業費用の取引消去333,799千円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	1,129,556	457,363	172,029	366,657	449,679	2,575,287	243,867	△24,279	2,794,875
セグメント利益又は セグメント損失(△)	66,828	24,449	△45	34,625	55,174	181,032	△376	△75,949	104,706

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益又はセグメント損失の調整額△75,949千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△24,279千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△377,032千円、セグメント間の営業費用の取引消去325,361千円が含まれております。